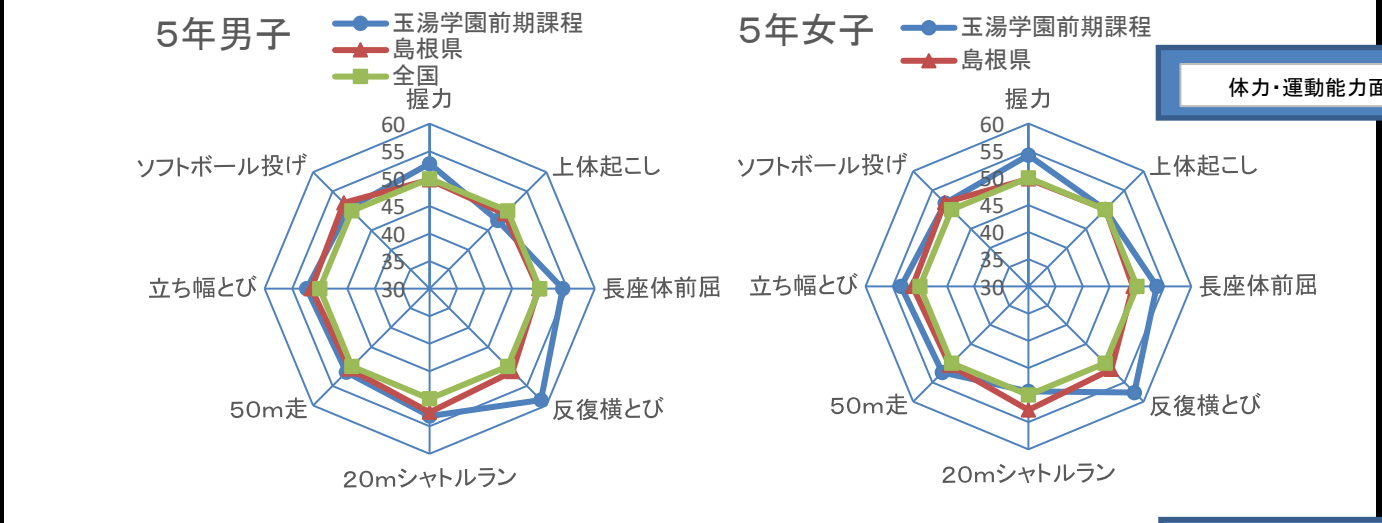
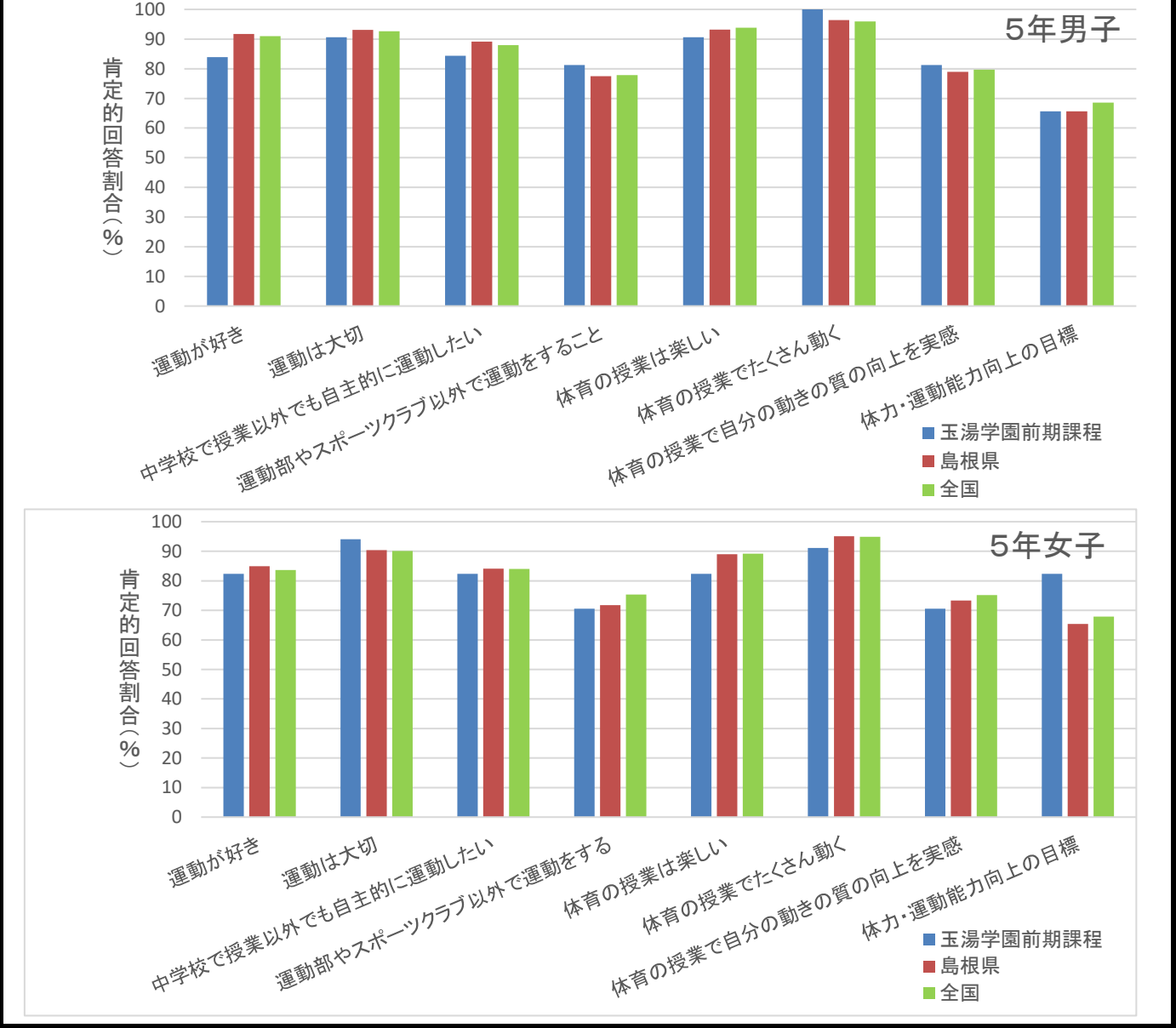


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



①体力・運動能力面
強み
○男子では「上体起こし」以外の種目で、全国平均を上回っている。特に「敏捷性」が強みである。 ○女子では「20mシャトルラン」以外の種目で全国平均を上回っている。特に「敏捷性」が強みである。
課題
●男子では「上体起こし」が全国平均を下回り、「筋持久力」が課題である。 ●女子では「20mシャトルラン」において全国平均を下回り、特に「全身持久力」が課題である。
次年度の対策
○筋持久力、全身持久力が高まる運動を体育に取り入れる。

②意識面
強み
○男子では「体育の授業でたくさん動く」「スポーツクラブ以外で運動をする」の割合が全国平均を上回っている。 ○女子では「体力・運動能力向上の目標」「運動は大切」の割合が全国平均を上回っている。
課題
●男子では「運動が好き」「中学校で授業以外でも自主的に運動をしたい」の割合が全国平均を下回っている。 ●女子では「体育の授業でたくさん動く」「体育の授業は楽しい」の割合が全国平均を下回っている。
次年度の対策
○運動が楽しいと思える体育の教材を考える。 ○運動量を意識した授業づくりをする。 ○家庭で取り組むことのできる運動メニュー(プログラム)の情報を発信する。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
 - ・体育の研究授業を公開し、研修の機会とする。
 - ・夏季休業中に体育に関する実技研修を企画・実施する。(参加した研修の伝達等)
- ②体育科授業の工夫・改善について
 - ・年度初めの職員会議等で体育授業の共通ルールと授業の充実のポイントについて説明し、共有する。
 - ・体力調査・運動能力調査結果の分析をし、2学期の体育授業・体育的取組に反映させる。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
 - ・なわとび集会を実施する。
 - ・休み時間に使用できる運動用具の充実を図る。
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
 - ・義務教育学校の特色を活かし幼稚園や後期課程と連携し課題に対する取組や活動を検討する。
 - ・児童生徒会の保体委員会と連携し、健康に関するテーマを取り上げ、啓発を図る。